
RADIANT レイディアント 光を放つ。

植月和樹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

RADIANT レイディアント 光を放つ。

【Nコード】

N35830

【作者名】

植月和樹

【あらすじ】

魔女が死んだ。

すべてはそこから始まった。

序章 1 - 1 (前書き)

さてさて、世界の断片シリーズ始まり始まり。
六十六の階段と世界の幻想が絡み合う。

序章 1 - 1

闇を畏れるな。あなたには私がいる。

序章。

ことの始まりは、十七世紀の日本。当時東洋を代表する魔女が死んだことからだ。魔女は己の魂を五つに分け、いつの日か再びこの地に戻る為の布石とした。

分裂した魂は四つが人の身体へ、いつか生まれるであろう魔の素質を持つものを待った。そして残りのひとつは土地へととり憑いた。いつか蘇るために、四つの魂を導く柱として、再誕をする為の準備をするために。

しかし、それに気づいたものがいた。それは彼女と同類のものだ。その者はひよんな思惑で彼女の再誕を妨害する策を画策した。

まずその土地を清めた。清めるのは簡単だった。なにせここは神の国日本。他国では決して織り成せないような清潔な結界を知っている。

その次に彼女が蘇る為に準備した魔法陣等の道具、図を隠した。あるものは地下深くに、あるものは建物の下に。

そして最後に、純粹と、無垢、穢れを知り光を放つ存在を多くその土地へ招き入れた。これで魔女はもう蘇らない。その者は自分の計画がうまくいったことに安堵の息を漏らした。

決して長くは続かなかったが。

彼がおいた最後の障害。純粹で無垢、穢れを知りながらも光を放つ存在が減少したからだ。文明の発展、により人は飢えることや苦勞をしなくなつた。娯樂も急激に増えた。他人に関心を抱くものなどすでにいないに等しかろう。

彼が置いた最後の障害。それは今と昔ではもう変えようにないく

らい変わってしまった、人間の子供たちを指している。

今の冷め切った世界が、四百年の封印を解こうとしていることなど、娯楽に飢え、暇をもてあます今の彼らには知るはずもない。

二千十五年、四月。春霞に包まれながら、十人程の人間と神の運命が絡み始めた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3583o/>

RADIANT レイディアント 光を放つ。

2010年10月18日07時35分発行